

鳥取県生活習慣病検診等管理指導協議会総合部会

- 日 時 令和2年3月12日（木） 午後4時10分～午後5時30分
- 場 所 テレビ会議 鳥取県健康会館 鳥取市戎町  
鳥取県中部医師会館 倉吉市旭田町  
鳥取県西部医師会館 米子市久米町
- 出席者 28人
  - 鳥取県健康会館：渡辺部会長、杉本・廣岡・皆川・山口各委員  
〈オブザーバー〉  
健対協：岡田理事、瀬川理事  
鳥取市保健所：北村主幹  
市町村：中林鳥取市室長、植垣鳥取市主任、松本岩美町主任保健師  
田中八頭町主任保健師、森下智頭町主任保健師  
鳥取県福祉保健部健康医療局健康政策課：丸山課長  
県健康政策課がん・生活習慣病対策室：高橋室長、山本課長補佐  
健対協事務局：岩垣課長、澤北主事
  - 鳥取県中部医師会館：  
〈オブザーバー〉  
市町村：福田倉吉市主幹、原田北栄町主任保健師
  - 鳥取県西部医師会館：尾崎・谷口・中村・濱本・山本各委員  
〈オブザーバー〉  
市町村：藤森米子市係長、矢田貝南部町主幹、清水南部町主任保健師

【概要】

・胃、子宮、肺、乳、大腸がん検診の受診者数、受診率は過去11年間の推移からは僅かながら増加傾向である。近年においては、やや横ばいである。乳がん、大腸がん検診においては、平成30年度の受診者数、受診率ともに、平成29年度に比べ減少した。年齢階級別受診率の比較では、例年と同様に胃、子宮、乳、大腸がん検診は40歳代が、肺がん検診は60歳代が一番高い。

・肝炎ウイルス検査受診率は2.7%で、ここ

数年、減少傾向にある。

- ・平成30年度の県内の特定健診受診率は46.5%で、前年度より1.5ポイント増加した。特定保健指導の実施率は、全体で22.1%（前年度22.9%）であった。
- ・国立がん研究センターが平成30年の75歳未満がん年齢調整死亡率を公表した。

鳥取県の男女計の死亡率は、平成30年は72.2（昨年86.0）で、過去最も低い値（良化）を記録。都道府県別順位は平成29年のワースト2位（46位）からワースト18位

(30位)と改善。

これまでの死亡率の高かった男女の胃や男性の肺の死亡率が減少しており、40歳代から60歳代の働き盛りの世代の死亡率の減少が起因している。

鳥取県は母数が少なく、死亡者数の減少に対して死亡率の変化が大きくなることから、単年の結果だけでの評価は困難であり、今後の推移をみていく必要がある。

委員からは、死亡率と罹患率を併せて、今後も経過を見ていく必要があるという話もあった。

## 挨拶（要旨）

〈渡辺部会長〉

本日は、東部、中部、西部の3会場を、TV会議システムで結んで、総合部会を開催することとなった。例年は、鳥取県健康会館に一堂して会を行うが、全国での新型コロナウイルス感染の広がりを受けて、会の運営について、いろいろ検討を行った。鳥取県医師会としては、2月26日に指針を出しており、おおむね50名以下で、医療福祉関係者、行政担当職を対象とした専門的な議論を行う必要がある会議については、TV会議システムを活用して、分散した会場での開催は可能としている。

それにもとづいて、総合部会はTV会議で行うこととした。

全国においても、新型コロナウイルスは、まだまだ、クラスターの広がりが見られ、新たな感染者も発生している。現在のところ、鳥取県内での感染者はいないが、47都道府県のうち、34都道府県に感染者がでていいる。鳥取県は未発生ということで、会議を中止、延期することより、会議開催の方が、有益性が高いということで、本日の会議の開催に至っている。ちなみに、本日までに、鳥取県の新型コロナウイルスPCR検査は87件行われ、全て陰性であった。

鳥取県においても、必要なPCR検査は行われ、感染者の早期発見や、地域における医療連携の中で適切な対応に取り組んでいるところである。一方、院内感染の予防対策は、今後、きわめて厳密に対応していかないといけない喫緊の課題である。

本日は、鳥取県の健康の大きな課題であるがんの対策を含めて、検診の精度管理、検診のあり方、様々な統計資料の振り返り、それから、令和2年度予算等の重要な案件が議題として挙がっているため、忌憚のないご意見、活発なるご発言をお願いしたい。

## 報告事項

平成30年度各種健康診査実績等、令和元年度実績見込み、令和2年度事業計画は、別表のとおり報告があった。

### 1. 平成30年度各種健康診査実績等について：

山本県健康政策課がん・生活習慣病対策室課長補佐

(1) 胃、子宮、肺、乳、大腸がん検診の受診者数、受診率は過去11年間の推移からは僅かながら増加傾向である。近年においては、やや横ばいである。乳がん、大腸がん検診においては、平成30年度の受診者数、受診率ともに、平成29年度に比べ減少した。

年齢階級別受診率の比較では、例年と同様に胃、子宮、乳、大腸がん検診は40歳代が、肺がん検診は60歳代が一番高い。

また、平成25年度より国の地域保健・健康増進事業報告の受診率の算定方法は40歳（子宮は20歳）から69歳までとしていることを受けて、参考までに同様に算定している。

(2) 肝炎ウイルス検査受診率は2.7%で、ここ数年、減少傾向にある。

(3) 平成30年度の県内の特定健診受診率は46.5%で、前年度より1.5ポイント増加した。特定保健指導の実施率は、全体で22.1%（前年度22.9%）であった。

## 2. 令和元年度特定健康診査及びがん検診の実績見込み及び令和2年度実施計画について：

山本県健康政策課がん・生活習慣病対策室課長補佐

がん検診については、令和元年度実績見込み、令和2年度計画によると、受診者数、受診率ともに増加すると思われる。

上記の報告について、以下の質問があった。

- ・平成30年度子宮がん検診の陽性反応適中度が、平成29年度に比べかなり下がった。また、国の許容値以下でもある。

⇒皆川委員から、以前は発見がんに上皮内癌を含めていたが、がん取り扱い規約の変更により、上皮内癌は外すこととなり、浸潤がんのみの集計となったことによるという説明があった。

- ・日吉津村においては、他のがん検診受診率は悪くないが、肺がん検診受診率が低率であること、また、令和元年度実績見込み及び令和2年度実施計画、いずれも減少傾向である。理由を教えてください。

⇒県健康政策課において、再度、日吉津村に確認をすることとなった。

## 3. 各部会・専門委員会の協議概要について：

山本県健康政策課がん・生活習慣病対策室課長補佐

各部会・各専門委員会の主な協議事項は以下のとおりであった。

### (1) 胃がん部会・胃がん対策専門委員会

○ピロリ菌等検査を実施する市町村に対する県の財政支援策について、夏部会において検討された事業実施モデルを元に具体的な実施方法等が提案された。

- ・陽性者に対するフォローについて、肝炎ウイルス検査のような定期検査報告を求めるような仕組みが必要ではないかという意見があっ

たが、ピロリ菌等検査では肝炎のような国の仕組みがないため実施は困難であるが、陽性者へのフォローは必要である等の意見があった。

- ・抗体価が陰性高値の者は陽性と整理するため、陰性高値でペプシノゲンが陽性の者はC判定とすべきという意見があった。
- ・胃がんリスク評価結果については、内視鏡の専門医でなければ評価が難しいという意見もあったが、判定が難しい場合は「判定困難」としていただくこととして、案のとおり実施することとした。

### (2) 子宮がん部会・子宮がん対策専門委員会

○受診者数（率）はほぼ横ばい。精検受診率は国の許容値70%以上は上回るものの、目標値90%以上には届いていない状況である。また、要精検率、がん発見率、陽性反応適中度は、浸潤がんのみを発見がんとしているので、国の許容値に届いていない状況である。

○令和元年度地域保健・健康増進事業報告の変更に伴い、紹介状及び実績報告の様式の変更が必要となり、「鳥取県子宮がん検診実施に係る手引き」の様式第1号及び第3号の改正案が示された。協議の結果、改正案通り承認された。

### (3) 肺がん部会・肺がん対策専門委員会

○平成30年度実績より、要精検率は許容値（3.0%以下）を上回るものの、陽性反応適中度も許容値（1.3%以上）を上回っている。地区別では、西部地区の要精検率が高いが、がん発見率、陽性反応適中度が許容値を上回っている。

○中村委員長より、平成29年75歳未満年齢調整肺がん死亡率データから、鳥取県の死亡率が高い理由とその対策について提案があった。

- ・鳥取県の75歳未満年齢調整肺がん死亡率が高い理由は、肺がん罹患率が高いことと関係している。
- ・対策として一番重要な点は罹患率を下げるこ

とであり、徹底した禁煙はもっとできると思われる。喫煙減少の効果は30年かかるので、将来必ず実を結ぶ。

- ・運動不足、食生活の改善は、もっと県民への啓発が必要である。
- ・肺がん検診は早期肺がんの発見、特に職域検診の精検受診率の向上に努め、精度管理を徹底することが重要である。
- ・医療体制の整備は治療医療機関の充実と連携、専門医（特に、薬物治療・放射線治療医）の増加、診療におけるガイドライン遵守の検証が大切である。

#### （4）乳がん部会・乳がん対策専門委員会

- 平成30年度実績は、要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度の全てにおいて国が示す許容値を満たしており、精度は保たれていると考えられる。
- 乳がん検診実施に係る手引きの一部改正について、精密検査結果について、日本乳癌学会「乳がん検診精検報告書作成マニュアル」に沿って記載することとなり、乳がん検診受診票の修正案が示され、内容について検討。カテゴリー9（自覚症状あり）が新たに追加となったが、その記載や取り扱いについては協議が必要であり、令和2年度夏部会において複数案を提示し改めて検討することとなった。
- 読影委員会でのモニター読影の導入を受け、手引きの文言もモニター読影ができるよう本文の修正案が示され、了承を得た。

#### （5）大腸がん部会・大腸がん対策専門委員会

- 平成30年度実績は、要精検率は国が示す許容値を上回っているが、がん発見率、陽性反応適中度は国の許容値を満たしており、精度は保たれていると考えられる。鳥取県では精検受診率が低く、精検受診率を向上させるような取り組みが必要であるという意見があった。
- 「大腸がん検診発見がん確定調査個人票」につ

いては、個人票の記入項目が多く、集計には必要のない項目もあるので、消化器がん検診学会集計を参考にしながら、改正案が示され、協議の結果、承認された。

- 国立がん研究センターでも、喫緊の課題として大腸がんへの対策に取り組んでいる。そこで、NHKと国立がん研究センター「希望の虹プロジェクト」では力を合わせて、「大腸がん撲滅プロジェクト」が敢行されており、この度、男女別の大腸がん精密検査受診勧奨リーフレットが作成され、NHKの番組でも紹介された。  
鳥取県においても、市町村や鳥取県保健事業団での受診勧奨にこのリーフレットを活用していくこととなった。

#### （6）肝臓がん対策専門委員会

- NBNC型肝臓がん対策について、NBNC HCCの危険因子は生活習慣病と考えられるが、HCCサーベイランスの対象患者が絞りにくく、糖尿病患者の中で、Fib-4indexを指標に肝線維化進展例を囲い込んだHCCサーベイランスについて検討された。
- 精密検査結果のC型肝炎治療後のウイルス消失例の取り扱いについては「健康指導対象者」とすること、肝がんの発症者は継続して医療を受けていることから、今後の方針または判定は「その他」とすることも確認された。

#### （7）循環器疾患等部会・生活習慣病対策専門委員会

- 平成30年度の特定期健診受診率は46.5%、特定保健指導実施率は22.1%であった。  
岩美町では特定期健診受診率向上を図り、平成30年度には46.8%と過去最高となった。
- 西部医師会で実施したCKDアンケート調査を東・中部医師会においても実施する。
- 本県の循環器病（心疾患、脳血管疾患）は、全国と同様に悪性新生物（がん）に次ぐ死亡原因となっており、循環器病対策は重要な課題の一



つである。

鳥取県循環器病対策推進計画（仮称）の策定に向けては、本会を中心に検討することとしているが、具体的な進め方については引き続き検討していく。

- 「高血圧治療ガイドライン2019（日本高血圧学会）」において高血圧予備群が再定義されたが、国の再定義までは鳥取県健康づくり文化創造プラン上の予備群の定義は従来通りとする。
- 鳥取県死因究明等推進協議会（R2.2.6）で示された県内における入浴中死亡事例の調査結果を受け、今後、ヒートショックや熱中症を含めた入浴中の死亡事故の注意喚起を行っていく。

#### 〈共通事項〉

- 胃がん、肺がん、乳がん、大腸がんの各部会において、検診の精度管理指標として国立がん研究センターが示している「事業評価のためのチェックリスト（検診実施機関用）」の取り扱いについて、協議を行った。その結果、医療機関によっては誤解を生じかねない内容があることなどの意見もあったが、本来は検診実施機関が知っておくべきものであるため、周知も兼ねて送付し、回答は求めないこととされた（子宮がんにおいては、検診実施機関へは周知済み）。

上記の報告について、以下の質問があった。

- ・渡辺部会長より、喫煙率を下げると同じくらい受動喫煙を下げようとする努力も必要ではないかという質問があった。

⇒中村委員からは、最近のデータからは、鳥取県の喫煙率はかなり下がっているが、詳細に解析してみると、50～60歳代男性の喫煙率は、全国平均より高い。肺がんの好発年齢に係る年齢の喫煙率を下げることや、習慣的に喫煙している者が鳥取県は高いとか、人口10万人当たりのたばこ店登録件数が全国3位とか、公的施設等の禁煙対策等がまだまだ不十分であること等から、徹底的な禁煙対策が必要

である。また、喫煙減少の効果は30年かかるので、将来必ず実を結ぶという信念を持って、行っていただきたいという話があった。

また、肺がん発生予防だけでなく、新型コロナウイルス感染等を含めた呼吸器全般の疾患を防ぐうえでも、県全体で禁煙対策に取り組む必要があるという話があった。

#### 4. 平成30年 75歳未満がん年齢調整死亡率について：

山本県健康政策課がん・生活習慣病対策室課長補佐

国立がん研究センターが平成30年の75歳未満がん年齢調整死亡率を公表した。

鳥取県の男女計の死亡率は、平成30年は72.2（昨年86.0）で、過去最も低い値（良化）を記録。都道府県別順位は平成29年のワースト2位（46位）からワースト18位（30位）と改善。

女性の死亡率は改善し51.7となり、全国値56.0以下（良化）となった。

これまでの死亡率の高かった男女の胃や男性の肺の死亡率が減少しており、40歳代から60歳代の働き盛りの世代の死亡率の減少が起因している。

鳥取県は母数が少なく、死亡者数の減少に対して死亡率の変化が大きくなることから、単年の結果だけでの評価は困難であり、今後の推移をみていく必要がある。

委員からは、死亡率と罹患率を併せて、今後も経過を見ていく必要があるという話もあった。

県健康政策課からは、2019年の罹患率については、全国がん登録より今年3月末に公表される予定であるという話があった。

#### 5. 県の令和2年度がん対策予算について：

山本県健康政策課がん・生活習慣病対策室課長補佐

本県における令和2年度予算は、86,148千円を予定している。がんの予防、がん医療、がんとの共生に関連する事業を行うこととしていると説明

があった。

## 協議事項

### 1. 研修会等の受講受付方法の変更について

岡田健対協理事より医師会においては、令和2年4月より研修会等の受講受付方法（生涯教育単位管理）が変わり、従来、紙媒体で行っていた受講確認（名簿への署名）を、電子媒体を利用したICカードもしくはQRコードを専用機器で読み取り受講管理を行うことになる。令和元年度中に周知文書を全会員へ発送予定。開始時と終了時の受付を行うので、時間設定を設けるのか、また、鳥取県医師会非会員の取り扱いをどのように行っていくのか、部会ごとに意見を伺った。

途中退席があった場合、受講点数をどのように取り扱うのか等、今後の受講管理については、部会での協議を踏まえて、再度、検討していくこととなった。

### 2. 個人情報提供申請について

岡田健対協理事より学会発表等で各検診発見がん確定調査の個人情報提供を受けられたい時は、鳥取県知事宛に個人情報提供申請書を提出していただくようにという話があった。

### 3. 「がん検診実績報告書」作成について

年1回発行。各種がん検診実績、検診発見がん確定調査結果、がん検診症例報告等を取りまとめて作成し、関係先に配布している。印刷代、郵送代等の経費は県委託金予算である。県健康政策課より、都道府県庁担当課の配布は必要ない、内容の見直し等の意見があり、今後の取り扱いについて、意見を伺った。

市町村代表の保健師からは、ウェブサイトの閲覧より、報告書が手元にあると確認しやすいので、印刷はしてほしい等の意見もあり、報告書は印刷することとなった。

また、配布先からは、都道府県庁担当課は外すこととなった。

(参 考)

平成30年度実績、令和元年度実績（中間）、令和2年度計画について

(単位：人 %)

区 分		国指標	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度計画		
胃 が ん 検 診	対 象 者 数 (人)		189,132	189,132	189,132		
	受診者	X 線 検 査 (人・率)		10,415 ( 5.5)	12,003 ( 6.3)	12,387 ( 6.6)	
		内 視 鏡 検 査 (人・率)		41,196 (21.8)	41,334 (21.9)	42,585 (22.5)	
		合 計 (人・率)	目標値50%達成	51,611 (27.3)	53,337 (28.2)	54,972 (29.1)	
	X 線 検 査	要 精 検 者 数 (人)		895	/	/	
		要 精 検 率 (%)	許容値11.0%以下	8.6			
		精 密 検 査 受 診 者 数 (人)		795			
		精 検 受 診 率 (%)	許容値70%以上 目標値90%以上	88.8			
	検 診	検診発見がんの者(がんの疑い)		164 (44)			
		検 診 発 見 が ん 率 (%)	許容値0.11%以上	0.32			
陽性反応適中度 (X線検査)		許容値1.0%以上	1.7				
確定調査結果 (確定癌数・率)			集計中				
子 宮 頸 部 が ん 検 診	対 象 者 数 (人)		129,896	129,896			129,896
	受 診 者 数 (人)		32,455	33,168			33,897
	受 診 率 (%)	目標値50%達成	25.0	25.5	26.1		
	要 精 検 者 数 (人)		549	/	/		
	判 定 不 能 者 数 (人)		45				
	要 精 検 率 (%)	許容値1.4%以下	1.69				
	精 検 受 診 者 数 (人)		430				
	精 検 受 診 率 (%)	許容値70%以上 目標値90%以上	78.3				
	検 診	検診発見がんの者(がんの疑い)				9 (189)	
		検 診 発 見 が ん 率 (%)	許容値0.05%以上			0.03	
陽 性 反 応 適 中 度		許容値4.0%以上	1.6				
確定調査結果 (確定癌数・率)			5 (0.02)				
肺 が ん 検 診	対 象 者 数 (人)		189,132			189,132	189,132
	受 診 者 数 (人)		55,050	57,010	57,909		
	受 診 率 (%)	目標値50%達成	29.1	30.1	30.6		
	要 精 検 者 数 (人)		2,023	/	/		
	要 精 検 率 (%)	許容値3.0%以下	3.67				
	精 検 受 診 者 数 (人)		1,839				
	精 検 受 診 率 (%)	許容値70%以上 目標値90%以上	90.9				
	検 診	検診発見がんの者(がんの疑い)				31 (115)	
		検 診 発 見 が ん 率 (%)	許容値0.03%以上			0.06	
		陽 性 反 応 適 中 度	許容値1.3%以上			1.5	
確定調査結果 (確定癌数・率)			52				
	上記のうち原発性肺がん数・率		49 (0.09)				

区 分		国指標	平成30年度実績	令和元年度実績見込	令和2年度計画
乳 が ん 検 診	対 象 者 数 (人)		115,469	115,469	115,469
	受 診 者 数 (人)		19,075	20,439	21,078
	受 診 率 (%)	目標値50%達成	16.5	17.7	18.3
	要 精 検 者 数 (人)		1,140		
	要 精 検 率 (%)	許容値11.0%以下	5.98		
	精 検 受 診 者 数 (人)		1,078		
	精 検 受 診 率 (%)	許容値80%以上 目標値90%以上	94.6		
	検診発見がんの者(がんの疑い)		60 (1)		
	検 診 発 見 が ん 率 (%)	許容値0.23%以上	0.31		
	陽 性 反 応 適 中 度	許容値2.5%以上	5.26		
	確定調査結果(確定癌数・率)		60 (0.31)		
	大 腸 が ん 検 診	対 象 者 数 (人)		189,132	189,132
受 診 者 数 (人)			56,991	58,798	59,928
受 診 率 (%)		目標値50%達成	30.1	31.1	31.7
要 精 検 者 数 (人)			4,746		
要 精 検 率 (%)		許容値7.0%以下	8.3		
精 検 受 診 者 数 (人)			3,693		
精 検 受 診 率 (%)		許容値70%以上 目標値90%以上	77.8		
検診発見がんの者(がんの疑い)			167 (13)		
検 診 発 見 が ん 率 (%)		許容値0.13%以上	0.29		
陽 性 反 応 適 中 度		許容値1.9%以上	3.5		
確定調査結果(確定癌数・率)			170 (0.30)		

※検診発見がんの者(率)：精密検査の結果、がんとして診断された者です。

( ) 内の数値は「がん疑いの者」の数を外数で計上。

※確定癌者(率)：精密検査の結果、がん及びがん疑いと診断された者について、鳥取県健康対策協議会が確定調査を行い、最終的に確定癌とされた者です。



(1) 平成30年度健康増進事業における肝炎ウイルス検査

区 分	対象者数	受診者数	受診率	HBs陽性者	HCV陽性者	HBs陽性率	HCV陽性率
肝炎ウイルス検査	207,065	5,521	2.7%	58	15	1.1%	0.3%

(精密検査)

区 分	要精検者数	精検受診者数	精検受診率	肝臓がん	肝臓がん疑い	がん発見率
肝炎ウイルス検査	72	46	63.9	1	0	0.02%

令和元年度実績見込み5,399人、令和2年度計画5,477人

(2) 肝臓がん検診により発見されたウイルス陽性者に対するの定期検査状況

区 分	健康指導対象者	定期検査受診者数	定期検査結果			
			慢性肝炎	肝硬変	肝臓がん	がん疑い
B型肝炎ウイルス陽性者	1,869	965	138 (14.3)	10 (1.0)	5 (0.5)	4 (0.4)
C型肝炎ウイルス陽性者	740	381	72 (18.9)	7 (1.8)	7 (1.8)	5 (1.3)

鳥取県健康対策協議会のホームページでは、各委員会の概要、委員会記録、出版物、従事者講習会から特定健診の情報まで随時更新しています。

なお、鳥取県医師会ホームページ (<http://www.tottori.med.or.jp>) のトップページ右領域のメニュー「鳥取県健康対策協議会」からもリンクしています。

→ 「鳥取県健康対策協議会」

<http://www.kentaikyoutottori.med.or.jp>

